

府域一水道に向けた水道のあり方協議会 第8回総会 議事要旨

日 時：令和 7 年 5 月 28 日（水） 15:00～16:20

場 所：国民會館 12 階 武藤記念ホール（中ホール）

議事内容

1. 水道行政の動向について

国土交通省近畿地方整備局から、水道行政における最近の出来事や国の動きなどの情報提供があった。水道漏水事故については、道路部局とも連携して対応していただきたい、また、現在国から依頼している鑄鉄管の緊急調査について、漏水がある場合は適宜対処してほしい、広域化については引き続き国として支援していく、などのコメントがあった。

2. 大阪府水道基盤強化計画令和 6 年度の進捗確認について

大阪府水道基盤強化計画の令和 6 年度の進捗確認の整理状況を、別添により事務局から説明を行った。

＜会長からの質問に対する主な発言＞

- 太子、河南、千早赤阪の3水道センターの事務所統合については、技術継承や危機管理体制の強化、業務の効率化といった統合の趣旨に沿った運営をしていきたい。なお、水道の利用者に対し、水道センターに来所いただくなくても手続きができるよう対応を進め、移転等について周知を行ってきたことから、これまでのところ不便になったという声はなく、円滑に移行できているものと考えている。（大阪広域水道企業団）
- 今年度の災害対策訓練については、府とも協議して進めていく。（豊中市（日本水道協会府支部））
- 緊急連絡管の訓練については、特に問題はなかった。（泉大津市）
- 衛星画像と AI を活用した漏水調査について、漏水箇所の絞込調査を実施しており、今後も更に作業が必要であるが、効率的にできていると感じている。（摂津市）
- AI による配管破損リスクの予測判断について、AI のアルゴリズムによりリスクを数値化し、職員の経験値と同様の結果も出力され、代替できるものと感じている。（泉佐野市）
- スマートフォンアプリについては、各種手続きが可能で、若年層を中心に利用が進んでいる。導入率は把握できていないが、住民サービス向上に期待している。（摂津市）
- スマートメーターについて市内小中学校 88 か所実証実験中。小中学校における漏水が早期に発見できたという効果もある。（豊中市）
- スマートメーターについて約 340 か所で実証実験を行った。Suita SST（Suita スタティナブルスマートタウン）で実施。従来型のメーターに付けるクリップオン式で、通常の電子式より安価となる可能性がある。精度が保てていることなどを確認した。

(吹田市)

- ・インターンシップは、DXを推進している中で、大阪国際工科専門職大学から受入れ依頼があった。AIやシステムに関する提案をいただき活用していく。(池田市)

3. 令和6年度の取組み及び令和7年度の取組予定について

本協議会の令和6年度の取組み及び令和7年度の取組予定(事務局案)を、別添により事務局から報告した。

<主な発言>

- ・近隣市とともに人工衛星やAIを活用した漏水調査を実施しており、成果があったので、事例説明会で情報提供させていただきたい。(東大阪市)
- ・水道施設の共同化について、国土強靱化中期計画素案でも急所施設の耐震化が記載されており、統合する前でも更新が必要な施設の共同化を進めること検討できないか。また、緊急連絡管について、濁りの発生や洗管排水量を極力低減させて、災害時の緊急送水がスムーズになるよう、2系統を1組として築造するなど検討できないか。これらについて、国費要望や制度設計要望を進めていければと考えている。なお、国土交通省への移管により、上下水道が同じ組織になっており、国としての予算編成方針や要求の考え方も変わってきている。上水道も、下水道と同様重要なインフラとして、国へ積極的に声を上げていく必要がある。(東大阪市)

4. その他

特になし